

第1学年 英語科学習指導案

1 単元 NEW HORIZON 1 Word Box 1 数字

2 指導の構想

このような生徒から

- ・ 兼務教員として、生徒たちが小学校6年生だった時から英語の指導を行っているが、当時からペア活動やコミュニケーション活動を意欲的に行う生徒が多い。
- ・ 小学校の外国語活動のときに、自分の年齢や家族の人数を表現したりすることはすでに学習している。英語に対してのモチベーションが高く、もっと英語を使って表現したいという願いをもっている生徒が多い。
- ・ Unit 1, Unit 2 で be 動詞を学習しており、I → am, you → are, this → is, that → is は理解できているが、「主語が I, you (we) 以外」のときはすべて is であることはまだ理解できていない。
- ・ 小学校の外国語活動のときに、1～30までの数字の言い方は学習しているが、教科書のページを指示した際に、11以上になるとかなり個人差があり、日本語で聞き返してくる生徒がいる。

このような単元で

本単元では、数字の言い方、書き方を学習する。数字の言い方はすでに小学校の外国語活動で30までの数字の言い方を学習しているし、クラスルームイングリッシュの中で、日にちや教科書のページを指示する際に使用している。中1の早い時期に導入して、日々の授業の中で反復練習して定着させていくことはとても意義がある。

また、中学校に入り、文字学習を始めたばかりの生徒にとって、身近な数字の発音とスペルを練習することはフォニックス（音と綴りの関係）に慣れていくのに適している。

さらに本単元では、学習した数字を使って、年齢、電話番号、足し算、引き算を表現する練習が用意されている。これらは Unit 1, Unit 2 で学習した be 動詞の復習にも適していると考えられる。足し算、引き算の言い方を通して、be 動詞の機能が「=」のイメージであることも理解させることができる。

また、年齢や電話番号などを表現する活動は、生徒が実生活で応用する可能性が高いことから、英語学習への意欲を高めることができる。

本学習内容は、Unit 5 の名詞の複数形や数を尋ねる疑問文の学習につながっていく。

このような指導の流れで

1 (2時間)

(1) 数字に慣れ、伝え合う学習 (本時 1/2)

- ① 1～30までの数字の言い方を復習する。
- ② 1～100までの数字の言い方を確認し、聞いたり発音したりする練習をする。
- ③ 自分の電話番号の言い方を学習し、表現する練習をする。
- ④ 電話番号を尋ねあう対話を使って、友達にインタビューする。

A: Your phone number, please.

B: OK.

My phone number is 36-1234.

A: Thank you.

B: You are welcome.

- ⑤ その対話を使い、3つのグループに分かれて、電話連絡網を作る活動を行う。

- ⑥ 数字を表す単語の練習をする。

(2) 二桁の数字でコミュニケーションを行う学習 (2/2)

- ① 年齢の言い方を学習し、発音練習をする。
- ② 数字カードを使って、簡単な足し算引き算を英語で言う練習をする。
- ③ 小学校1年生の算数プリントを使って、ペアで足し算、引き算を英語で読みながら、解く活動を行う。

[Twelve plus eight is twenty. 等]

- ④ ①や②で学習した表現を数字のスペリングに注意しながら、ノートに書く。

- ⑤ ワークを使って、本単元の復習をする。

このように工夫して

本単元の指導にあたって次のような支援を行う。

(1) 生徒の発言を増やし、間違いを気にさせないで、生徒が積極的に発言できるようにするために、少人数指導を行う。1年生の英語学習初期であるため、習熟度別少人数の形態ではなく、均等少人数学習にする。

(2) 数字の言い方の練習をする際にペアワークを取り入れる。その際、少人数のクラス誰とでもペアワークができるようになるために、同じ人とばかりでなく、座席のとなり、前後などペアの指示を出してパートナーを変えていく。

(3) 数字の言い方を通して、フォニックス（音と綴りの関係）にも慣れさせていく。そこで数字カードと数字のスペルカードを用意する。

(4) 英語に対して苦手意識を持っている生徒も、友達の援助を得ながら、活動に参加することができるように、電話連絡網を作るグループ活動を取り入れる。グループ活動が取り組みやすいように、授業の流れに沿った学習プリントを用意する。

(5) 英語学習に意欲的に取り組めるように、身近な言語使用場面を取り入れる。ここでは、自分の年齢、電話番号を表現する練習を取り入れる。

(6) 二桁の数字に慣れさせるために、簡単な足し算引き算を英語で表現する練習をとり入れる。その際、生徒に興味を持たせるために、小学校1年生の算数プリントを準備する。また、be 動詞の機能が「=」のイメージであることも理解させるために、視覚に訴えるように板書用のカードを準備する。

このような生徒に

- ・ ペア学習やグループ学習を通して、間違いをおそれず積極的に数字を使って、英語でコミュニケーションを図ろうとしている。
- ・ be 動詞と数を使って、年齢や電話番号、簡単な足し算や引き算を英語で表現することができる。
- ・ 1～100までの数字を聞いたり、書いたりすることができる。
- ・ be 動詞の使い方において、主語が「I, you (we) 以外の」ときはすべて is であることを理解することができる。

3 本時の目標

- 間違いをおそれず積極的に数字・電話番号を尋ね合い、英語でコミュニケーションを図ろうしている。
- 英語の中で数字を使うことに慣れ、電話番号を尋ねたり、教えたりすることができる。

4 本時の流れ

段階	学習活動と内容	教師の支援	めざす子どもの姿
導入 配時	Greeting & Warm Up 1 英語であいさつをする。 3 Q (曜日、日付、天気) に答える。 学習プリントに曜日、日付、天気を記入する。【全体】 2 小学校で学習した数字の言い方 1～30 までを確認する。さらに、100 までの言い方を知り、発音練習をする。【ペア】	●英語であいさつした後、3 Q (曜日、日付、天気) を出し、英語学習の雰囲気を作る。 ●数字カードを使って、数字の言い方を確認していく。数字カードは数字と単語(スペル)の2種類用意しておく。	○間違いをおそれず、単語を声に出している。 単語のスペルや書き方に気をつけて、ノートに記入している。 ○間違いをおそれず、ペアで数字の発音練習に取りくんでいる。 Target
	めあて 電話番号を尋ねたり、教えたりすることによって、英語の数字を覚えよう。		
展開 配時 30	Activity 3 教師からの電話番号を聞きとって、学習プリントに記入し、その番号を読む練習をする。【全体】 4 自分の電話番号を表す文を学習プリントに書き、練習する。【個】 例) My phone number is 36-1234. 5 学習プリントの対話例を使って、2人に自由に電話番号を尋ねる活動を行う。【ペア】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> A: Your phone number, please. B: OK. My phone number is 36-1234. A: 36-1234? B: Yes. (No. My phone number is 36-1234.) A: Thank you. B: You are welcome. </div> 6 3つのグループに分かれて、同じ会話を使って、電話連絡網をつくる。【グループ】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 1 グループ6人の3グループに分かれる絵カードに書かれた数字の順番に電話番号を尋ねていく。 ①の人が②の人に電話番号を尋ねる。 ②の人が③の人に電話番号を尋ねる…。 会話をしている以外の生徒は2人の会話を聞いて学習プリントに電話番号を記入していく。 </div>	●いくつかの電話番号を聞きとる練習をさせ、- (ハイフン) は英語では一呼吸おいて言うことに気付かせる。 ●学習プリントを活用させ、phone, number の新出単語を確認させ、発音の練習をする。 ●場面を理解しやすいように、教師と生徒によるデモンストレーションをみせる。その際、聞き取れなかったときは、Pardon? を使ってねばり強く聞きとろうとする姿勢をもたせる。 ●対話を活動を活性化させるために、対話例を貼付する。 ●活動の際、英語が苦手な生徒のために、ヒントカードを準備す、必要な生徒には使用するように促す。 ●絵カードを配り、生徒をbaseball/soccer/misic の3つのグループに分ける。 ●生徒の様子や学習プリントを見て、数字(電話番号)を尋ねるあい、書くことができているか確認する。できていない生徒には、グループ内で支援するように声をかける。	○電話番号を聞きとり、ノートに書こうとしている。その番号を大きな声で読む練習をしている。 Think 電話番号を尋ね合い、英語でコミュニケーションを図ろうしている。 Think ○積極的に活動に参加し、英語で数字を使うことに慣れ、電話番号を尋ねたり、教えたりすることができる。
	Evaluation & Closing 7 全体の前で電話連絡網を作るときに行った会話を発表をする。		Try & Try
まとめ 配時 10	まとめ 英語の数字を覚えることは、日常生活におけるコミュニケーションにとっても役に立つ。		
	8 宿題と次時の連絡を聞き、終わりのあいさつをする。	●電話番号以外に、数字を用いる場面、表現を考えさせる。 ●宿題は1から10までの単語練習、次時は数字を使って年齢や簡単な足し算の言い方を学習することを告げる。	○数字を使って、年齢や足し算引き算なども表現してみたいという意欲をもつ。